

授業概要 7/23(水)

7月23日(水)

2時限 10:40 ~ 12:10

| 科目名 | 担当教員 | 概要 |
|------------------|-------|--|
| 学際科目A (考えるリテラシー) | 井桁 碧 | 最初に「レポートの種類」「レポートの構成」「情報・資料利用の仕方」等について講じる。それを踏まえ、受講者は繰り返し課題として提示される論理的文章を読解し、その内容について思考し、800字～2000字程度のレポートを、担当教員からの助言を受けつつ推敲し、完成させる。また、各自の作成したレポートについて口頭報告し、質疑応答を行う。 |
| 学際科目D (大衆文化論) | 木村卓司 | アメリカ合衆国の大衆文化(ポピュラー・カルチャー)ならびに1960年代にそのアンチテーゼとして登場した対抗文化(カウンター・カルチャー)について、1950年代と60年代という対照的な時代背景を比較考察しながら概説する。その際、文化の主たる担い手である「大人」と「若者」の関係の変化や社会情勢にも着目し、そこで生み出された様々な文化アウトプット(文学、映画、音楽、風俗など)も適宜紹介してゆく予定である。 |
| 情報数学 | 垣花京子 | 情報処理のための基礎的な数学、情報経営で利用する基礎的な数学の話題を取り上げ、解説しその背景の考えを理解し、問題解決をする。 |
| 世界遺産A | 小松 進 | 世界遺産は地球と人類の歩みが刻み込まれた歴史的記念碑である。とりわけその文化遺産は世界各地で繰り広げられたさまざまな文明の精華が凝縮し結晶化されたもので、それぞれの遺産は人類が営んだ諸文明の特質を読み解く最良の手がかりである。こうした文明読解の手段であるばかりでなく、世界遺産は今日観光の目玉としても注目を集めている。本講義では世界遺産の基礎知識を身につけるとともに、映像でさまざまな世界遺産を紹介しながら、人類文化のたどった歴史的軌跡への理解を深めていく。 |
| 財政学 | 鈴木則稔 | 財政の重要項目の説明、日本の財政の制度と現状、財政政策、公共経済学に含まれる内容の説明。日本の大学での「財政学」「財政」の標準的な内容のマスター。「公共経済学」も一部含む。文科系の公務員試験には必ず出てくるものなので、そのレベルを超えることを目標とする。 |
| メディア編集A | 石田 収 | 文章を書く力、自己表現力、言語運用力をつける。マスコミに対する理解を深める。就職力をつける。グループ学習でコミュニケーション力、協調性をつける。 |
| 児童英語A | ジュベ | |
| インターネット英語A | 宮尾真理子 | 英語の学習においてインターネットは主に2つの意味を持っている。(1) 英語の学習に、英語教材の宝庫であるインターネットというメディアを活用することができる。(2) 英語でのコミュニケーションの発信の場として、インターネットを利用することができる。まずは、インターネット上の様々な英語教材を英語学習に取り入れながら各自の学習スタイルにあった学習方法を探す。例として、ESL/EFL学習者向けのサイトの活用や、YouTubeなどの学習者向けではないが大いに英語の学習に役立つサイトを利用し、生の英語を学ぶ。また、インターネット上での検索活動を通じ、情報スキルや問題解決力も身につくようにする。 |

3時限 13:00 ~ 14:30

| 科目名 | 担当教員 | 概要 |
|-----------------|-------|---|
| 政治の基礎 | 木村卓司 | 政治学の基本概念である政治制度、政治参加、政治変動、政治体制、政治権力などについて、日本とアメリカ合衆国の事例も適宜紹介しながら概説する。また近年注目を集めている圧力団体、利益団体、世論、メディアなどの主要な政府外アクターとの関係についてもあわせて考察する予定。一般教養としての政治に関する基礎知識を身につけるだけでなく、政権交代を経験した日本政治を見る視点もあわせて養ってゆきたい。 |
| コミュニケーション英文法A | 宮尾真理子 | Grammar Engine (桐原書店) のテキストを使い、基礎的な文法事項を整理・確認しながら、コミュニケーションに役立つ英語での情報発信能力を養成する。最初にダイアログを耳で聞き、そのユニットで学ぶ文法項目が実際のコミュニケーションでどのように使われるかを確認できるように、日常的な会話の勉強にもなるように構成する。 |
| ビジネスコミュニケーション1 | 木下知己 | ビジネス上において、ビジネスマンに要求されるコミュニケーション手法の種類と性質を講義する。ビジネス社会の対内業務で具体的ビジネス・シーンを想定し、コミュニケーション対応方法を学び、ビジネスコミュニケーションのスキルと能力向上をめざす。 |
| 情報化とコミュニティー形成1 | 浜田利満 | 高度な情報化が進んだ21世紀では、機械、各種システムは人(広く言えば生物)との共生が今まで以上に重要になると考えられる。人にやさしい機械システムを設計するためには、人間の特性をよく理解するとともに、機械システムが人に及ぼす様々な影響を考慮する必要がある。こうした観点から、真に使いやすい、有益な機械システムを開発するために必要な人と機械のインタフェースに関する知識や両者をより良い関係に保つために必要な事柄を講義し、情報システム開発における基礎知識を学ぶ。小テストに向けた復習と演習を有意義に進める予習をする。 |
| プログラミング (C言語) A | 松岡東香 | 情報の基礎理論やプログラミング技術の習得を目指し、コンピュータ科学基礎、コンピュータシステム、プログラミングなどについて理解を深めることを目的とする。プログラミングの基本的な事項について学び、数値の入出力を伴う計算プログラムや、入力データに基づいて自ら判断して出力を行うプログラムの作成演習を行う。 |
| 金融経済分析 | 鈴木則稔 | 「マクロ経済A、B」「ミクロ経済A、B」の内容をさらに継続して学習することを目的とします。これら科目がカバーしていない理論や政策効果の分析を学習し、さらに計量分析で理論を裏付ける方法について学びます。または、米国の一流学者が書いたテキストの英語による講読を、年度によっては採用しています。 |
| Webシステム | 山野井一夫 | HTML5、CSS3、Twitter Bootstrapの基礎を学び、Dreamweaverを使いホームページの作成方法を学習する。CMSの仕組みについて学ぶ。代表的なCMS、wordpressを使いオリジナルなホームページ作成の方法について学習する。 |
| フードシステム1 | 古家晴美 | |

4時限 14:40 ~ 16:10

| 科目名 | 担当教員 | 概要 |
|-----------------|------|---|
| 経営の基礎 | 木下知己 | 民間企業、国・地方自治体、各種機関、団体等における経営の基本的考え方と応用及び経営者の視点について学ぶ。経営の具体的課題と問題解決に向けての対応策、今後の展開方法等について事例中心に講義する。 |
| 経済と社会A1 | 小松 進 | 近代資本主義社会発祥の舞台となったヨーロッパ世界の経済と社会を歴史的に考えることを講義の対象とする。ヨーロッパ世界に古代史は存在しない。ヨーロッパ世界は中世のある時期に誕生した。そもそも、いつ、どこで、いかにして、この世界は生まれたのであろうか。こうしたヨーロッパ世界の成立に関する根本的な問題を、講義ではまず検討する。次に、成立当初のヨーロッパ経済と社会の諸側面に触れながら、それらがヨーロッパ世界の枠組みをいかに規定していくかを明らかにしていきたい。 |
| 組込コンピューティングA | 高藤清美 | 私たちの身の回りにはコンピュータを内蔵した装置や機器が数多くあります。これらの装置の多くは、コンピュータとしてマイクロプロセッサと呼ばれるLSI (大規模集積回路) を中心に構成され、電子回路の規模は小さくても普通のコンピュータと全く同じ概念を用いて構成されています。この授業では、マイクロプロセッサを用いたモデル装置を使いながら、コンピュータの仕組み、動作原理、メモリ回路の仕組み、周辺装置の仕組みなどについて学習します。 |
| ディスカッション&ディベートA | ジュベ | |
| バーチャルリアリティ | 吉田真澄 | 前半は試作例を通じて一般的なイメージを習得させ、それを支える幅広い要素技術を学ぶ。特に情報や認知の各分野における技術とバーチャルリアリティの関連を明確にし、グループ検討により、現行の問題点を探る。 |